



Basic & New

3-004EAQ-00-01

日本ペイント株式会社
製品使用説明書

ダンジオーラU上塗HB シルバー

高遮断性塗料用弱溶剤厚膜形ウレタン樹脂上塗りアルミニウム塗料

特 長

- ・塗料用シンナーで希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
- ・外気温0℃以上で塗装が可能です。
- ・厚膜に塗装可能です。中塗りと上塗りの膜厚を1回で塗装可能な省工程塗料です。
- ・シルバーの仕上がり外観にすぐれています。

塗 料 性 状

| | | 塗料液 | 硬化剤 | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------------------|---------------------|------|---------|--------|
| 色 | | シルバー色 | 無色～淡黄色 | | | |
| 密度(g/cm ³)(23℃) | | 1.09(混合塗料) | 1.10(塗料液) 1.00(硬化剤) | | | |
| 光 沢 | | つや有り | | | | |
| 引 火 点 | | 47 | 50 | | | |
| 発 火 点 | | 190(参考値) | 454(参考値) | | | |
| 消 防 法 表 示 | 化 学 名 | 合成樹脂エナメル塗料 | 合成樹脂クリヤー塗料 | | | |
| | 危 険 物 区 分 | 指定可燃物・液体 | 第4類 第2石油類(非水溶性) | | | |
| | 危 険 物 等 級 | -(火気厳禁) | III(火気厳禁) | | | |
| 有 機 溶 剤 区 分 | | 第3種 | 第3種 | | | |
| 毒 劇 物 表 示 | | - | - | | | |
| 有 害 物 表 示 | | - | ポリイソシアネート | | | |
| ホルムアルデヒド | 登録(認証)番号 | N02376 | | | | |
| 放散等級 | 区 分 表 示 | F | | | | |
| 問 合 せ 先 | | http://www.toryo.or.jp/ | | | | |
| 国 連 / 指 針 番 号 | | 1263/128 | 1866/128 | | | |
| 環 境 性 能 | クロル ^o リス | 配合せず | ホルムアルデヒド | 配合せず | トルエン | 配合せず |
| | キシレン | 0.8% | パラジクロロベンゼン | 配合せず | エチルベンゼン | 0.1%未満 |
| | スチレン(モノマー) | 0.2% | フタル酸ジ-n-ブチル | 配合せず | トリクレシン | 配合せず |
| | フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 配合せず | ダイアジン | 配合せず | アトアルデヒド | 配合せず |
| | フェノール | 配合せず | 鉛 | 配合せず | | |
| T V O C | | 26.7% | | | | |

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%) : 62(混合塗料) 62(塗料液) 56(硬化剤)

塗 装 基 準

下 地 調 整 :

混 合 :

荷 重 姿 :

ポットライフ :

希 釈 剤 :

塗 装 方 法 :

- ・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。
- ・2液形のため、「塗料液:硬化剤=8:1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- ・13.5kgセット(塗料液:硬化剤=12kg:1.5kg)、3.6kgセット(塗料液:硬化剤=3.2kg:0.4kg)
- ・5時間(23℃)、8時間(0℃)、3時間(35℃)
- ・塗料用シンナー-A

| 塗 装 方 法 | はけ、ローラー塗り | エアレススプレー塗り |
|----------|--------------------------|--------------------------|
| 希 釈 率 | 0～10% | 0～10% |
| 使 用 量 | 0.15kg/m ² /回 | 0.20kg/m ² /回 |
| 膜厚(ドライ) | 55μm | 55μm |
| 膜厚(ウェット) | 115μm | 115μm |

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12～15MPa チップNo.163-513、515など

エ ア レ ス 条 件 :

乾 燥 時 間 :

| | 5 | 23 | 30 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 指 触 乾 燥 | 90分 | 40分 | 30分 |
| 半 硬 化 乾 燥 | 2時間 | 1時間 | 40分 |
| 塗 り 重 ね 乾 燥 | 24時間以上10日以内 | 16時間以上10日以内 | 16時間以上10日以内 |

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ・ダンジオーラU上塗HBシルバーは(0℃)指触乾燥:2時間、半硬化:3時間、塗り重ね:24時間以上10日以内になります。

注 意 事 項

- ・硬化剤は、水と反応しますので容器の密閉を確実にしてください。また、塗料中への水の混入は絶対に避けてください。
 - ・塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで目粗ししてから塗り重ねてください。
 - ・補修塗装で下塗りを塗り重ねる部分は入念な目粗しを行ってください。
 - ・ご使用前に充分かくはんしてください。
 - ・2液弱溶剤反応形樹脂を使用しているため、希釈時、シンナーが浮いた状態になりますが、かくはんすると問題なく混ざります。
 - ・塗料用シンナーA以外(例えばウレタン用シンナー等)での希釈は絶対に避けてください。
 - ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しない場合がありますので、標準希釈量をまもってください。
 - ・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
 - ・水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
 - ・希釈しすぎるとダレやすくなりますので、気温に応じて希釈率を変えてください。
 - ・塗装時0 以下、塗装後0 以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度85%以上の場合は施工しないでください。
 - ・エアスプレーの場合は、はけ・ローラー・エアレス塗装に比べ、光沢が低下する傾向にあります。
 - ・塗装の際の膜厚差、及び、はけ跡、ローラー跡によるリーフィングムラは避けることが出来ません。
 - ・また、タッチアップが効かないこともご了承ください。
 - ・エアレス塗装は飛散防止措置を講じてください。
 - ・標準膜厚より極端に厚い場合や、薄い場合には種々の塗膜欠陥を生じる事がありますので規定の使用量を厳守してください(さび・はく離等)。
 - ・乾燥後でも塗膜をこすると、アルミニウムがとれる場合があります。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。